

ワインの歴史コース

約2.8km(所要時間約50分)
(休憩・見学等の時間は含まれていません)

日川・勝沼宿コース

約3.3km(所要時間約1時間)
(休憩・見学等の時間は含まれていません)



【ワインの歴史コース】

- 1 日本最古の甲州ぶどうの木
- 2 官軍兵士木村武則の墓
- 3 ぶどう冷蔵庫(石室)
- 4 龍憲セラー
- 5 ワイン資料館
- 6 宮光園

【ワインの歴史コース】

～ワインのルーツを探访～

このコースは日本ワインの発祥地を巡るコースでもあります。ワイン産業の先覚者・宮崎光太郎が自宅に整備した宮崎葡萄酒醸造所と観光ブドウ園であった宮光園や土屋龍憲がワイン醸造に取り組んだ龍憲セラー、ここを歩けば日本のワインのルーツが分かります。

【日川・勝沼宿コース】

- 1 日本最古の甲州ぶどうの木
- 2 官軍兵士木村武則の墓
- 3 日川水制
- 4 祝橋
- 5 勝沼氏館跡
- 6 甲州街道勝沼宿
- 7 小佐手小路
- 8 旧田中銀行

【日川・勝沼宿コース】～甲州街道を訪ねて～

日川沿いやぶどう畑の間を歩き、武田家の御親類衆であった勝沼氏館跡や江戸幕府により整備された五街道の1つ甲州街道の勝沼宿、明治30年代初め、勝沼郵便電信局舎として建設された擬洋風建築の旧田中銀行など、勝沼の歴史の道へつながるコースです。

ワインの歴史コース、日川・勝沼宿コースはここ！

甲州市

- コースルート
- 迂回路
- 駐車場
- トイレ
- 公衆電話
- 寄り道

フットパスの注意点 ①畑や宅地内に無断での立ち入りはご遠慮ください。また、沿道の樹木や草花を大切にしましょう。②交通ルールを守り、ゴミ類の持ち帰りをお願いします。発行:ある〜くこうしゅう推進協議会

日川・勝沼宿コース

3 日川水制



水流の勢いを制御し、土砂の流出を防止する役割をもつ水制。日川には、明治末期から大正初期に74基整備されました。川沿いを歩くと建設された当時の姿を一部確認することができます。

4 祝橋



祝橋の名はその地名に由来します。明治8年に最初の祝橋が架けられて以来、3度架けかえられています。写真は、昭和5年に完成したコンクリートアーチ橋。県内の同年代のコンクリートアーチ橋の中では最大です。

5 勝沼氏館跡



勝沼氏は武田信友(信玄の叔父)を祖とする家系。勝沼信友とその子信元の二代の館跡がこの勝沼氏館跡です。鎌倉往還が近くを通過していた当時の交通の要衝にあり、武蔵・相模方面への警固、連絡的役割を担っていた戦国武将の館の姿が分かる、貴重な国指定の史跡です。

6 甲州街道勝沼宿



勝沼宿は江戸開府とともに整備された甲州街道の宿場として、元和4年(1618)に設けられました。甲府盆地の玄関口として栄えました。江戸時代の道中記などには、勝沼のブドウのことがしばしば記されています。

7 小佐手小路



小佐手小路は、勝沼氏館の正面からまっすぐ北に延びる道であったことから、御先手(おさきて)小路と呼ばれていました。それが転じて小佐手小路になったと伝えられています。また、小佐手氏が通ったことから名付けられたとも言われます。

8 旧田中銀行



明治30年代初めに勝沼郵便電話局舎として建設された藤村式の擬洋風建築。大正9年には株式会社山梨田中銀行の社屋となりましたが、世界恐慌の中で経営を断念。戦時中は住宅に改修され、皇族の疎開先として利用されていました。

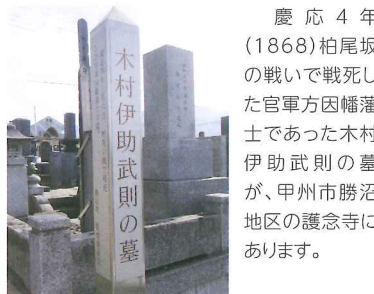
ワインの歴史コース

1 日本最古の甲州ぶどうの木



中央園にある100年以上前に植えられた最高齢樹の甲州種ぶどうで、市の天然記念物。甲龍と名付けられ、今でも元気にぶどうの実を実らせています。

2 官軍兵士 木村武則の墓



慶応4年(1868)柏尾坂の戦いで戦死した官軍方因幡藩士であった木村伊助武則の墓が、甲州市勝沼地区の護念寺にあります。

3 ぶどう冷蔵庫(石室)



大正10年頃から祝地区の各地で見られた半地下式など天然のぶどう専用冷蔵庫。勝沼では戦前から低温保存をすることで、出荷量の調節を実現していました。

4 龍憲セラー



明治31年(1898)ころ、土屋龍憲が造ったぶどう酒貯蔵庫です。かつては貯蔵庫の上には建物があったと思われる、北東隅から下る螺旋階段が残っています。

5 ワイン資料館



中央線開通の翌年、明治37年(1904)に宮崎醸造所第二工場として建設されました。現存する木造式のワイン醸造所としては日本で最も古い建物です。昔の醸造器具のほか明治10年代の国内最古のワインも展示しています。

開館時間:9時30分から16時30分まで
休館日:火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
お問合せ先:シャトーメルシャン 0553-44-1011

6 宮光園



ワイン産業の先覚者・宮崎光太郎が自宅に整備した宮崎葡萄酒醸造所と観光ブドウ園の総称。当時のワイン醸造や観光ブドウ園の様子を知ることが出来る貴重な施設です。

開館時間:9時から16時30分まで
休館日:火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
お問合せ先:宮光園 0553-44-0444

こぼれ話 勝沼



1300年以上の歴史を持つ 甲州種ぶどう

甲州ぶどうの原産地は中央アジアに位置するコーカサス地方。その原種はワインに適したヴィテス・ヴィニフェラ種です。このぶどうがシルクロードを通り、古代、大陸との交流によって日本にもたらされ、気候風土が適している甲州市勝沼地区に根づいたとされています。



ワイン醸造と2人の青年

明治政府の殖産興業政策のもと、明治10年(1877)、県令藤村紫朗の働きかけで、「大日本山梨葡萄酒会社」がつけられました。それから葡萄酒醸造の研修生として高野正誠、土屋次郎(龍憲)がフランスに派遣されました。この2人の取り組みが、後の日本のワイン醸造の礎となったのです。



かつめま朝市

平成15年、新興住宅地でテントひとつから始まった朝市。地元住民を中心に回を重ねるとどまらず出店数も増え、今では農作物にとどまらず幅広いジャンルからの出店がみられます。さらに会場ではフットパス・ガイドツアー、ワインセミナーやバンド演奏といった様々な催しも開催されています。